

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名:岐阜市立柳津小学校

校長名 小野島 孝

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 自分やまわりの人の笑顔をうみだすために、自分づくり、関係づくり、未来づくりをキーワードに、生命の尊厳を大切にした教育課程の編成及び見直しを行う。 主体的、対話的で深い学びとなるよう、授業での課題設定、ロイノートの活用、自己の学びを自覚する場を位置付けるなどの授業改善を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業のみならず、飼育活動や生物に関わる単元で命の大切さに触れる場を位置付けている。 毎月の「いじめ」について考える日の活動、児童会活動を通して仲間との関わりについて考える場を設けるとともに、「よさみつけ」に年間通して取り組んでいる。 家庭学習や学校での授業に、積極的にICTを活用したり、ステージごとのふりかえりをロイノートに蓄積して自分の成長を自覚できるようにしたりした。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、ICT機器を当たり前のように授業で使っている。新しい教育が行われている感じがしている。 いじめの取組について、学校生活アンケート以外の場においても、引き続き、児童の様子を把握していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もっと知りたい」、「みんなでやると楽しい」、「やればできる」など感じることができるような教育課程を編成していく。 教科担任や外部講師による授業、一人一人の尊厳を守る人権教育の推進、学校行事の充実を行う。 家庭学習について、学校の役割、保護者の役割がうまく回るように連携していく。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を通じて、地域連携を図りつつ、開かれた学校を目指し、保護者の協力、地域人材活用を積極的に推進する。 原三溪の学習等を軸に、中学校の出口である「自律」へ向けた指導を行う。中学校区および中学校と定期的に交流を行い、共通理解を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ぎふMIRAI'sの活動を利用して、地域の人材を活かした出前授業を行ったり、地域の施設を訪れたりして、岐阜市の魅力を実感する学習に取り組んできた。 原三溪の学習は全学年で必ず実施している。また、境川中学校での学習内容につながることも意識して、キャリアパスポートに学習の記録を残している。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部の講師の方による授業があり、帰宅後、家でその話をしたり、家庭でも実践をする場があった。今後も子供たちの学習が広がる機会の提供をお願いしたい。 原三溪の学習は地域として引き続きお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、PTAや地域の諸団体と連携を図り、体験活動や実物に触れる活動、体験談を聞いたりする場を持ち、子供たちの学習を豊かにしていく。 地域の偉人である原三溪の学習を全学年で行い、地元への愛着を育む。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 職員が自らの授業を磨き、子供と向き合う時間を確保できるよう、情報伝達にスマ運やteamsを適切に活用していく。 学年の枠を超えた児童や職員の関係性づくりを意図的に行う。 学級の課題は、学年や学校の課題ととらえ、全職員で対応する。 職員や保護者児童に対して、敬意をもって接する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 日課表を変更したり、会議の内容を精選したりすることで放課後の時間を確保した。職員間の連絡はteamsを利用し、各自のタイミングで責任をもって情報収集をしている。 フロア制による日頃の異学年交流や学習・生活のサポート、「なかよし遊び」を通して学年の枠を超えた活動を意図的に仕組んだ。 児童会の取組をきっかけにして、自分からあいさつをする児童が増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 異学年交流のよい部分もある。学年を一つのまとまりにすることで異学年の交流がなくならないようにしてほしい。 なかよし祭りのような、異学年交流の場は、子供を育てる場になっている。 あいさつを増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人で抱えず、組織で対応できるようにする。学年主任会を定期的に位置付け、担任や担当が一人で抱え込まないように、自配りと支援ができるようにする。 同学年を同じフロアにすることで、学年職員で学年の児童に対応できるようにする。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な命を守る訓練を意識し、訓練日や災害発生場所の事前告知なしや休み時間の実施など、的確に自分の命が守れる行動ができるようにする。 いじめ事案や生徒指導事案に対し、複数の職員で対応し、事実に基づく指導を一層推進し、安全性の確保に努める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 命を守るための基本的な動きを身に付けることを大切にしながらも、「実践的」ということに重点を置いて、ハザードマップを活用したり、休み時間に自分たちで考えて避難したりする訓練を実施した。 計画的な学校生活アンケートや日々の行動観察によっていじめの早期発見・早期対応に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会からPTAの方に、地域防災について手の講演会があった。自治体と学校が連携して命を守る仕組みを今後も続けていってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ事案や生徒指導事案に対して、組織的に対応するとともに、保護者との連携も密にしておく。 よさみつけや安心な居場所づくりを継続的にを行い、未然に防ぐ指導などを行っていく。 命を守る避難訓練が形骸化しないように、想定場所や時間などを変更していく。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> 長期的見通しをもって予算要望を行い、当年度予算については計画的に執行するとともに、複数職員でチェックを行い適正に運用する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 適切に予算執行が行われるように、事務職員だけでなく管理職を中心とした複数の職員でチェックしている。 PTAや田口文庫などの市教委への届け出(寄付採納)も適切に行っている。」 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた予算であるため、優先順位をつけて子供たちの学習を支えてほしい。 不適切な会計処理がないよう引き続き、お願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供が安心安全に学校生活を送ることを優先し、その次に学習が充実するよう計画を立て、予算執行していく。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/yanaizu-e/>